

自治基本条例の基本的な考え方について(案)

- 1 広く市民に理解される, わかりやすい条例とする。
 - (1) 若年層から高齢者まで広く市民にわかりやすい, 簡素・簡潔, 明快な条文, 構成を目指す。
 - (2) 他の個別条例との整合性をとりながら, 自治に関する基本的事項を厳選して記載
 - (3) 条項数も含め, できるかぎり内容を整理
- 2 長く市民に親しまれる条例とする。
 - (1) 宇都宮の地理的環境, 歴史, 文化や, 優れているもの, 誇れるもの等を踏まえ, 市民が広く共有できる内容としていく。
 - (2) 社会情勢等により変わりやすい個別具体的な制度等の詳細を規定するより, 自治の普遍的・理念的事項を記載
- 3 宇都宮市らしい自治を育むための条例とする。
 - (1) 宇都宮の特色を活かした自治を推進するために, 市がこれまで培ってきた, 各種の仕組み・取組を本条例に位置付け
 - (2) 今まで制度化・条例化されていない取組, 制度等を本条例に位置付ける際には, 必要性, 実現可能性等について十分に検討すべき

(以上の詳細について, 今回, 別紙により補足説明)